

市政報告

16
vol.

かみたに

京都市会議員

神谷修平

瓦版



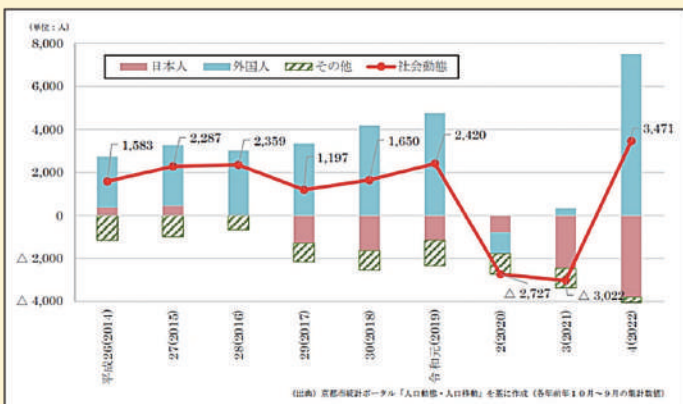
Topic
1

2年連続で日本一人口が減ったまちに！ 京都市の人口減少の実態。

京都市の人口減少数が、全国の市区町村で2年連続最多となりました。つまり**2年連続で日本一人口が減少した自治体**となったのです。少子化や人口の流出など様々な原因が考えられます。人口流出について詳しく見てみると、随分前から日本人の流出が始まっております。その代わりに外国人の流入は増えている実態があります。

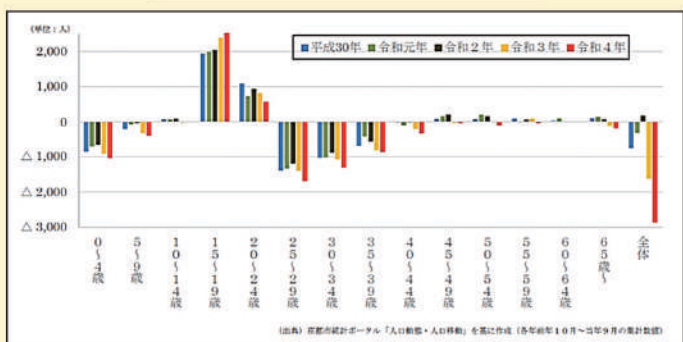
転出先は、京都府南部・滋賀県・大阪府が大半で、アンケートでは転出理由に住宅環境を挙げる声が一番多くなっています。子育て世代の住宅環境に難があるというのは、京都府の出している「子育て環境レーダーチャート」でよくわかります。

日本人・外国人別の社会動態 (平成26年から令和4年の推移)

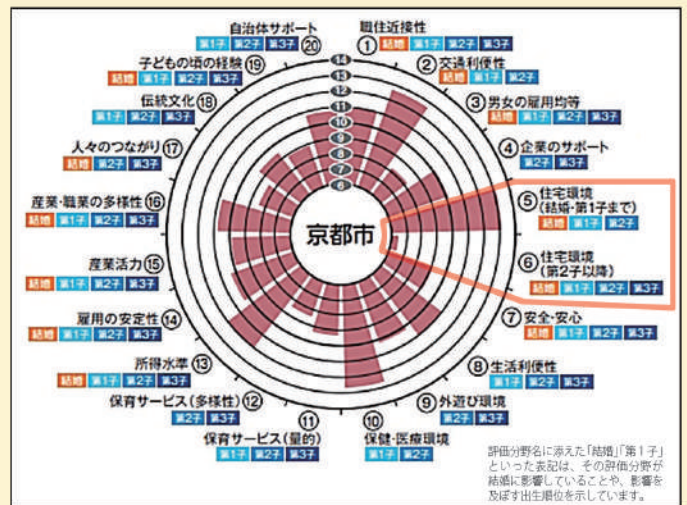


また、「年代別の社会動態(日本人のみ)」のグラフを見ると、25歳～39歳の流出が多いこともさることながら、**0歳～4歳の流出が1,000人近く**になっているのが、子育て家庭の市外流出を顕著に表しています。

年代別の社会動態 (日本人のみ)



子育て環境レーダーチャート (評価分野のスコア、市町村平均＝1.0)



⑤の「住宅環境(結婚・第1子まで)」

⑥の「住宅環境(第2子以降)」

のスコアの落差が極めて大きくなっています。2LDK以上で手頃な金額の住宅供給が足りないと推察できます。子育て世帯への行政サービスを見直すとともに、住宅環境の改善が求められます。引き続き、声を上げて参ります。



Topic 2

外国人などの不動産の 買い占め対策



京都市では、特に中国などの外国の投資家・企業などに土地や物件が買い占められる問題が起こっています。買い占めによって、町家の取り壊し・新しいホテルなどの建設が盛んに行われ、京都らしい伝統的な街並みが失われつつあります。その対策として、京都人が京都の都市格を維持するために払ってきた負担を収益目的で買い占めを行う外国資本などにも負担いただき、その資金を市民に還元する新たな仕組みが必要だと考えます。

Topic 4

いじめ対策強化を 求めました！



全国の学校で2021年度に認知されたいじめの件数は61万5351件で過去最多となりました。また、いじめによる自殺や不登校などの重大事態は705件となり、過去2番目に多くなりました。近年、増加傾向が続いています。京都市では、近年2000件を超える状況で推移しております。私もご相談をいただいたことがございますが、児童生徒の方と教師の方とのトラブルについて、対応が長期化し、その間にお子さんが不登校となったという事態も起こっています。子どもたちからのSOSの見逃しや、初動対応の遅れにより問題が長期化・複雑化するケースは全国的に見ても後を絶ちません。



他都市では、いじめの即時停止を目的とした専門部署を創設しております。専門部署ではいじめの情報を積極的に収集し、第三者的視点でいじめの状況をチェックするなどの対応を行い、いじめ解決に向けスピード感をもって対応します。また、専門部署がいじめ対応の一部を受け持つことによって、教職員の方々の負担軽減にもつながります。いじめの対応には、教職員が児童生徒宅を訪問したり、夜間や休日などに対応するなど大きな負担となっております。その役割を専門部署が引き受けることで、負担軽減につながり教職員は本来の指導や見守りに専念でき、良い循環が生まれます。

本市にも、いじめ対応の専門部署を設けることを求めました。いじめを解決につなげていく本気の姿勢が必要です。

Topic 3

文化・伝統を 護るための提案が実現！



京都市では「Arts Aid KYOTO～京都市 連携・協働型文化芸術支援制度～」を創設し、昨年こちらの支援対象に文化財保護事業も加わりました。現在、企業版ふるさと納税やふるさと納税型クラウドファンディングを活用し積極的に予算確保に努めています。

私自身、約10年間文化財修復師として文化財保護に携わってきた中で、文化財や伝統技術がしっかりと護られていない現場を実際に見てきました。議会で度々、文化・伝統を護っていくためには民間資金等を活用する仕組みが必要だと提案して参りました。今回の京都市の取組は私の提案が取り入れられた形となっています。今後とも京都の文化・伝統を護り伝えていくための提案を続けて参ります。

Topic 5

災害・消防用の ドローンが活躍



災害・消防用のドローンが全国的に少しずつ導入され、効果や実績に注目が集まっております。地震、洪水などの大規模災害発生時に上空から、また消防職員が立ち入ることが困難な地域や場所の情報収集活動などが可能になります。様々な災害に出動し、建物火災や林野火災での延焼状況の確認、水難救助、要救助者の捜索、物資の運搬などで威力を発揮します。京都市でも現在3機のドローンが活躍しています。

しっかりと最新技術を導入し、京都の安全安心に努めていただくようお願いしております。

・京都市のドローンの運用実績・

令和3年中は32件出動 火災に27件
救助に3件

(令和4年中9月末で27件と年々出動件数は増えている。)



地域 問題 解決



光徳公園



大宮七条

公園のベンチや、横断歩道の改修など、
様々な問題解決が実現しました。

神谷家は「かみたに瓦版」といって瓦屋を営んでおりました。それにちなんで、タイトルを「かみたに『瓦』版」と命名致しました。



『かみたに瓦版』の由来

神谷修平プロフィール

- 1986年11月19日生まれ 関西学院大学卒業
- 文化財保存修復師として約10年間
国宝・重要文化財の絵画の修理に携わる。
- バスケットボール部に中学から高校まで、6年間所属
- 家族は妻と子供2人です。



発行：神谷修平事務所

〒600-8385 京都市下京区五坊大宮町77 ヒゴエグゼクティブビル1F TEL. 075-406-0473 FAX. 075-406-0474 kamitani2019@gmail.com